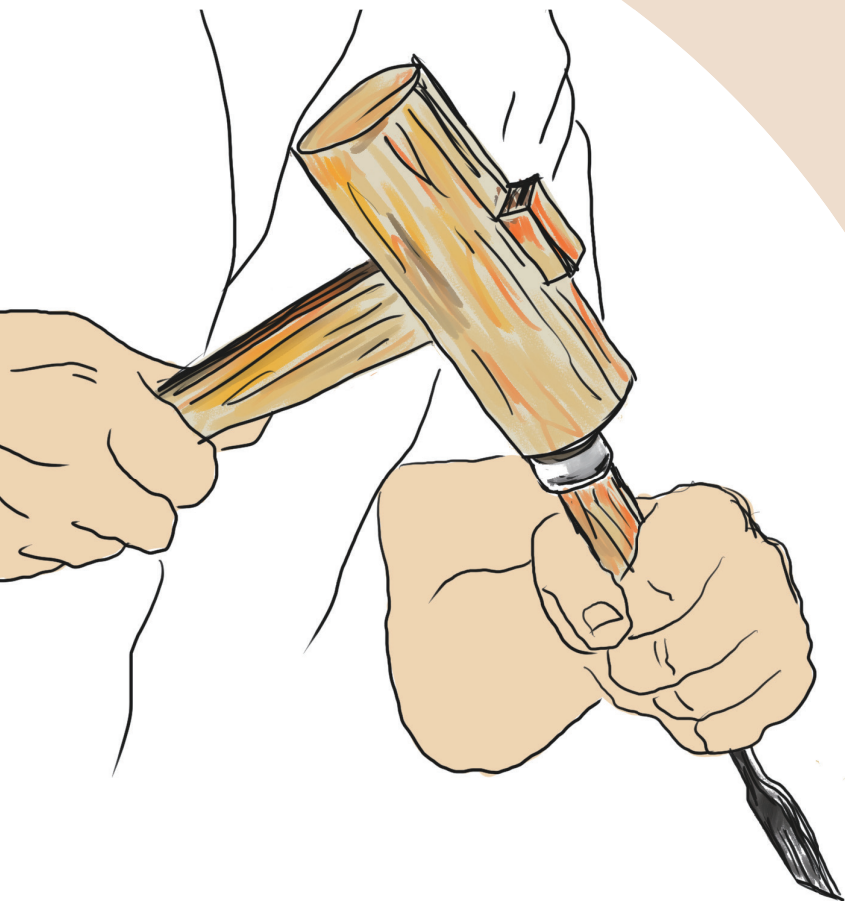


東 弘一郎

デッカ・ハンマ・タイヤ・
プロジェクト



2023年4月20日(木)ー5月14日(日)

会場 | 古民家いなえ 時間 | 10:30ー17:00 休館日 | 4/24~4/27、5/8~5/11 入場無料/予約不要

Koichiro Azuma Solo Exhibition

この20年間で、数百万人の「ものづくり職人」が日本から消えたと言われていました。職人技という言葉は、テクノロジーの進歩によりロボットに使われる時代が来るかもしれません。佐原で曳き回しの山車を初めて見た時、東の関心は4トンの重さを支える、かじ取りの仕掛けのない半間（山車の車輪）と、それを製作した職人にありました。「下手なもの作ったら人が死ぬ。だから下手なものは作れない。」実際に佐原の半間を製作した木工所の職人を訪れ聞いた言葉は、匠の技を学習した機械からは聞けないものでした。

東はこれまでに、各地でのフィールドワークを元に、その地域で捨てられた家庭内放置自転車を使い作品を制作し、もう一度それらに命を吹き込むことで大量廃棄という問題を浮き彫りにすると同時に、大量生産の陰で密かに消えていくものづくりの現場に目を向けてきました。

本展では、ひとりの木工職人が営む工場に東が通い協働制作した、高さ1.8mの巨大半間を展示します。完成形は二輪となる予定の本作は、子供の力でも回転させることが可能となり、その異様なスケール感と視覚のイメージがもたらす矛盾は、鑑賞者の目を見えていなかったものへと向けさせます。



[Artist Profile]

東 弘一郎 Koichiro Azuma

1998年 東京都生まれ。アーティスト。2020年 東京藝術大学美術学部 先端芸術表現科卒業。

2022年 東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻卒業。同大学院、博士課程に在学中。星と海の芸術祭 総合ディレクター。

自転車と金属を組み合わせ、主に動く立体作品を制作している。サロンド・ブランタン賞受賞。

宮田亮平賞受賞。第24回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)入選。主な展示に大地の芸術祭(今年の越後妻有)。

春のアート展(GINZA SIX 蔦屋書店)など。

主催： 佐原みらい運河株式会社
協賛： 株式会社エヌアイディ
助成：



企画協力： Color Lounge Art株式会社
特定非営利活動法人佐原アカデミア
制作協力： 有限会社守谷建具店

古民家いなえ

〒287-0003 千葉県香取市佐原1511

アクセス： JR佐原駅より徒歩10分

東関東自動車「佐原香取」ICより約5分

公式HP



空き駐車場の情報もご確認いただけます。▶